

山 口 新 聞

平成 29 年 10 月 6 日 (金)

NO.268

【中山間地域等直接支払集落協定】



①会員の皆さん
②水路保全作業
の様子

郷土の荒廃、見過ごせぬ

中須南地区集落協定 (周南市)



水路の保全などを共同で行い、農家の減少で重くな

た。

「郷土の荒廃をそのままにはしておけない」と、2015年に当会を発足させ

た。

(代表、形岡瑛)

＝金曜日掲載＝

【メモ】代表＝形岡瑛
▽会員＝32人、農業者
(29人)、非農業者(2
人)、大溝・小溝水利組
合▽設立＝2015年4
月1日▽連絡先＝周南市
中須南2290、形岡瑛、
電話0834・89・0
733

農地・水・環境

守ろう 地域の手で

268

周南市旧徳山の西北に位置する標高300以上の集落である。小さな川、堤、伝説の用水路大溝などを水源

とする農地は、水源ごとに小別れし分散している。農地面積179畝のうち耕作可能面積は82畝。実際に耕作されているのは、せいぜいその半分であろう。

2年目から2人の耕作者が亡くなり、腰痛などの故障者が相次ぎ、高齢による撤退もあって、厳しさは一層増している。共同の取り組みで気持ちの通い合いが生まれてきており、それを大切にしながら踏ん張っていきたい。

農地の集積、大規模化に重点を置く国の施策からは取り残されていく危機感がある。

2年目から2人の耕作者

農地の集積、大規模化に重点を置く国の施策からは取り残されていく危機感がある。

2年目から2人の耕作者